

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構

□ 内容についてのお問い合わせ

独立行政法人国際協力機構（JICA）沖縄国際センター

市民参加協力課・担当者名 庄司・大城、e-mail:oiactpp@jica.go.jp

TEL：098-876-6000 FAX：098-876-6014

<http://www.jica.go.jp/okinawa/index.html>

【セミナー】エルサルバドル国を知ろう！！ コーヒーの産地×内戦の記憶

JICA 沖縄では、沖縄県立博物館・美術館と共催で、セミナーを開催します。

中米にあるエルサルバドル共和国。1980年から92年に亘る内戦で、市民を含む7万5千人が死亡したと言われていています。2017年に平和祈念資料館を訪問したエルサルバドル政府高官が、沖縄の平和教育に注目し、自国で同じような教育ができないかと考えています。

エルサルバドルの現状と課題、沖縄発途上国向けの平和協力の事例、内戦の経験と平和の象徴であるコーヒーのお話を通じて、将来の可能性を考えます。セミナー最後にエルサルバドルのコーヒーのテイスティングがあります。

取材にお越しいただく際には、事前に上記アドレスへご連絡いただけますと大変幸いです。

セミナー概要

1. 日時
2020年2月24日（月・祝） 13:00～16:30
2. 場所
沖縄県立博物館・美術館 1階博物館講座室、3階ミュージアムカフェ
3. 内容
 - (1) エルサルバドル国の紹介
 - (2) エルサルバドル国の内戦を伝える博物館・施設の現状
 - (3) 沖縄県からの平和教育発信の経験について（カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館の事例）
 - (4) エルサルバドル平和の象徴のコーヒーについて（20分）
 - (5) 内戦の記憶を語る博物館等施設への平和教育協力の可能性について（パネルディスカッション）
 - (6) エルサルバドルのコーヒー・テイスティング

別添：セミナーチラシ

以上

【セミナーのご案内】

エルサルバドル国を知ろう!!



コーヒーの産地 × 内戦の記憶

～JICA沖縄主催 × 沖縄県立博物館・美術館共催～

日 時：2020年2月24日(月・祝) 午後1時～4時30分

場 所：沖縄県立博物館・美術館 1階博物館講座室、3階ミュージアムカフェ

定 員：80名(先着順。電子メールでお名前と人数をお知らせください。)

登壇者：川島良彰(株)ミカフェート代表取締役)

園原 謙(沖縄県立博物館・美術館主任学芸員)

仲泊和枝(NPO法人 沖縄平和協力センター理事長)

藤城一雄(国際協力機構(JICA)エルサルバドル前事務所長)

コーヒーの生産で有名な中米のエルサルバドル国。

内戦の歴史を乗り越え、今、平和教育の実現を目指しています。

セミナーでは、沖縄の経験を活かした支援の可能性を探ります。

セミナー最後にエルサルバドル国のコーヒーのテイスティングがあります。

お申込み・問合せ先：JICA沖縄 市民参加協力課 担当：庄司・大城

電話：098-876-6000 メール：oictp@jica.go.jp

